

鉄 山 (1563m)



[※ 実施日--2025年4月27日(日)]

(参加者-----5名)

① (大川口で登山届提出)



② (8時山行開始、急登)



③ (行者還岳をバックに)



⑤ (鉄山平からバックに鉄山)



④ (眼下に川迫川、遠くに金剛山・大和葛城山)



⑥ (へっぽこ登山との出会い)



⑦ (11:15 鉄山の山頂)



⑧ (鉄山から大普賢岳をバックに)



⑩ (鉄山平から弥山をバックに乾~杯)



⑨ (奥から大普賢岳、小普賢岳、七曜岳、行者還岳)

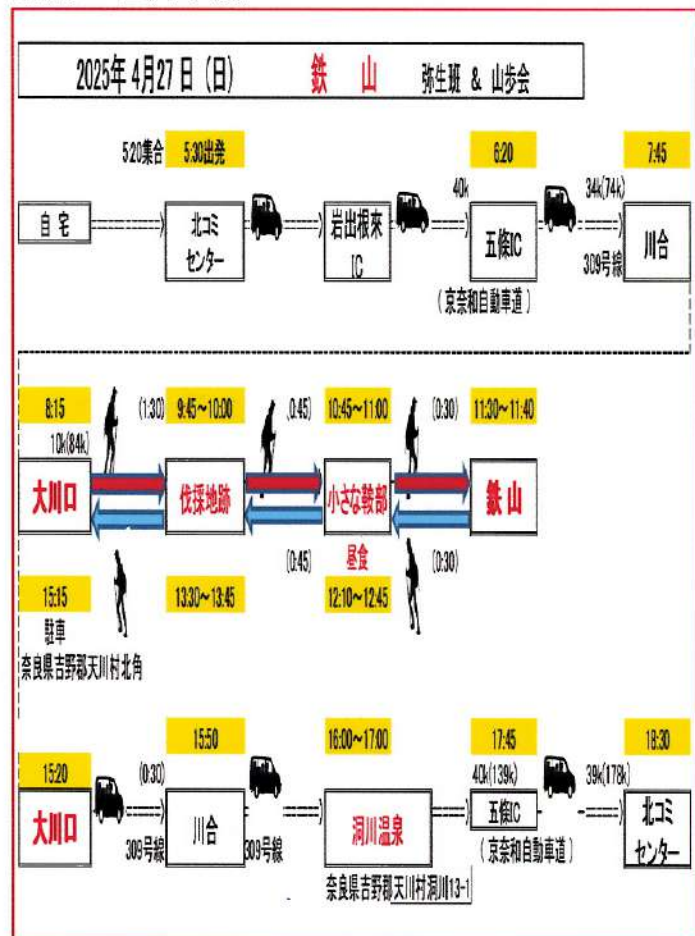


鉄 山 (1563m)

紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ----- 2025 年 4 月 27 日(日)

※(行 程) [予定]



(メンバー) --- 計 5 名 (弥生班 3 名、会員外 2 名)
大森、有本、河原(さくら班)、
北山(会員外)、関(会員外)

(写真 1) (大川口駐車場、登山届)



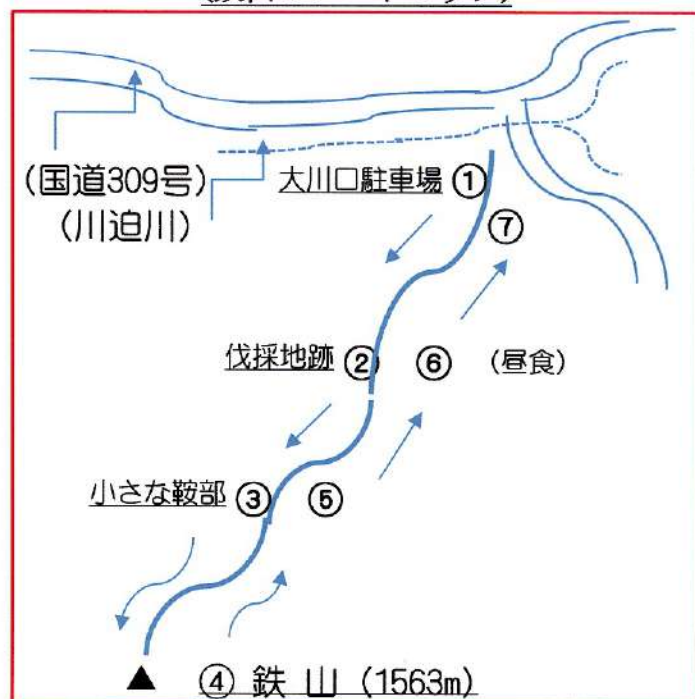
・北コミセンター 5 時 30 分出発し、大川口駐車場に 7 時 45 分到着。
狭いスペースに既に 15 台程度の駐車があり、駐車に苦労する。
天気は良好であるが朝一番は肌寒い。
安全を祈願し、登山届を提出する。

(写真 2) (大川口登山口)



・大川口登山口を 8 時出発。
今回は、会員外の 2 名を含め異色のメンバーでの実施。
最初から急登続きで、岩登りや木の根っこを掴んでの苦労し、中々進まない。

(鉄山のロードマップ)



(写真 3)

(急登が続く)



- ・急登が続き、無言で進む。
早くもメンバーの息が荒くなる。

(写真 6)

(小休憩)



- ・行者還岳をバックに小休憩。

(写真 4)

(尾 根)



- ・やっと尾根にたどり着き笑顔が――

(写真 7)

(鉄山平の手前)



- ・晴天で眼下に川迫川が流れ、遠くには金剛山・
大和葛城山が見える。

(写真 5)

(樹林帯)



- ・樹林帯が続いていたが視界が広がる。

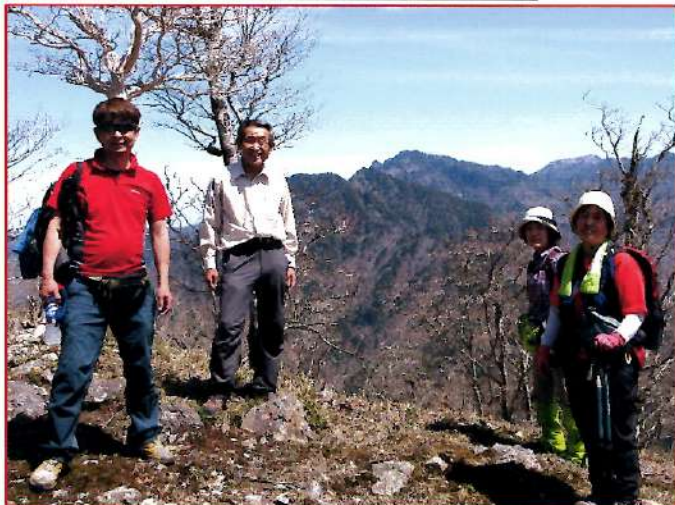
(写真 8)

(鉄山平から一その 1)



- ・10時30分、小さな鞍部(鉄山平)に到着。
バックの南方面に弥山が見える。

(写真 9) (鉄山平から-その 2)



- ・北側にはバリゴヤの頭、奥に稲村ヶ岳や大日山が見える。

(写真 12) (へっぽこ登山との出会い)



- ・鉄山へ向かう狭い空間で、まさかのユーチューバー「へっぽこ登山夫婦」に出会う。

(写真 10) (鉄山平から-その 3)



- ・正面は鉄山。ピークには後ろの山を 2 つ越えたところにある。ここでリュックサックを置いてもう一登り。頑張るぞー!!

(写真 13) (鉄山の頂上から-その 1)



- ・11時15分、頂上に到着。
頂上は、4畳半程度と狭い。

(写真 11) (鉄山ピークに向かう)



- ・木の根っこが密集しており、よじ登る。

(写真 14) (鉄山の頂上から-その 2)



- ・鉄山頂上から、東側の大普賢岳をバックに--

(写真 15) (鉄山の頂上から…その 3)



- ・奥に大普賢岳、小普賢岳、七曜岳、手前は行者還岳の絶景。

(写真 16) (下山)



- ・絶景を堪能し、昼食予定の鉄山平まで下山。往復ルートであるが下山ルートを間違え、30 分程度のロスをしてしまった。

(写真 17) (ランチタイム)



- ・鉄山平まで引き返し昼食。先ずは「かんぱ〜い」。汗をかくと美味しい。絶景を見ながら喉に染み渡る。

(写真 18) (下山)



- ・15 時、大川口駐車場に到着。帰路は洞川温泉で入浴し、18 時 30 分帰着。

[最後に]

- 弥山方面の道路は崩落で通行止めとなっており、7 時 45 分に大川口に到着した時は、狭いスペースに既に 15 台程度の駐車があり、駐車に苦労した。
(弥山・八経ヶ岳への登山者もここで駐車しているものと思われる)
弥生班も 10 月に弥山・八経ヶ岳への山行計画があり、実行前に道路状況の確認が必要である。
- 朝一番は肌寒かったが天気が良く、山行途中で汗ばんで絶好の山行日和となった。
- 登り始めから急登で、山頂近くでは木の根っこで苦労したが、鉄山山頂、鉄山平からは、南に弥山、東方面に行者還岳、遠くに大普賢岳、北方面に稲村ヶ岳、西の遠くに金剛山や大和葛城山等、360 度のパノラマを楽しめた。
- 今回は、会員外の異色のメンバーとの山行であったが、天気恵まれ、絶景と帰路の温泉入浴を含め満足な山行であった。